

白い息

『ファの豆腐』／『冬の日』

“バリアフリー映画”の現在 — 日本映画界に、新たな動きが始まった。

いつもお世話になっております。

3月2日(土)より、日本人若手監督の中でも、国内外での活躍が期待される監督作として、コフェスタPAOにより選出された2作品『ファの豆腐』(久万真路監督)と『冬の日』(黒崎博監督)が、『白い息』と題し、渋谷のユーロスペースにて公開致します。今回、新たに制作されたバリアフリー版も上映致します。ますます進化しようとしているバリアフリー映画。その新たに動きのなかで制作された本作に、ぜひご注目願います。

垣根を取っ払い、楽しめる映画を目指して進化をし続ける“バリアフリー映画”。

今、日本の映画界に新しい動きが進みつつある。いわゆる“バリアフリー映画”が始まったのである。

“バリアフリー映画”とは、目の不自由な方や耳の不自由な方にも、映画を楽しんでもらおうと映画に「音声ガイド」や「聴覚障害者用日本語字幕」を加えたもの。テレビでは、NHKを中心に、番組に「解説放送」や「字幕」を付けてきた。総務省が2017年までに、可能な番組の「字幕」については100%を目標にするとして以来、その動きは加速している。しかし、映画の世界では、通常の制作にプラスして経費がかかるため、“バリアフリー映画”が作られるケースは極めて少なく、年間数本にとどまっていた。

ところが近年、映画のデジタル化が進み、技術的には比較的簡便に「音声ガイド」「字幕」を付けられるようになったため、映画関係者も重い腰をあげつつある。最初に動いたのは広島県だ。「就労支援」の一環として、“バリアフリー映画”制作スキルを、子供を持つ一人親などに持って貰う活動を開始した。コンピューター字幕ソフト会社の最大手カンバス社は、広島市に支社を作り、この活動を支援している。実際の制作には、障害者の団体が協力している。「音声ガイド」については、広島県立視覚障害者情報センターや福祉法人広島県視覚障害者団体連合会が制作に参加している。本当に楽しめる映画にするため、障害者が自らバリアフリー映画制作に協力しているのである。

このたび、バリアフリー映画の振興のため、NHK エンタープライズ(以下、NEP)・株式会社クロスメディア・テレビマンユニオン(共に制作会社)が協力して、バリアフリー映画の上映を渋谷ユーロスペースで行う。作品は、経済産業者が出資して制作した『冬の日』(NHK 黒崎博監督)と『ファの豆腐』(久万真路監督)の2つの短編作品だ。ちなみに、NEPは、NHK広島局が2009年に制作して放送文化基金や芸術祭大賞などを受賞した広島発ドラマ「火の魚」を広島で上映したり(上映は2012年)、韓国の万博で展示するための「ドラえもん」のバリアフリー版を日本語・韓国語で制作(2012年 韓国麗水万博にて発表)等の活動を続ける。また、クロスメディアは、色々なジャンルの映画を楽しんでほしいと、ミステリー映画『少女たちの羅針盤』(音声ガイド・小宮悦子)やセリフのない新藤兼人の名作映画『裸の島』(音声ガイド・原田大二郎)などのバリアフリー版の制作を行ってきた。なお、今回の上映は、バリアフリー映画に理解の深い、渋谷にあるユーロスペースの協力によって実現した。

制作スタッフ一同、今回の上映をきっかけに、映画制作関係者や関わった自治体などを通じて、バリアフリー上映への理解が深まることを望んでおります。ぜひ、ご取材のほど、宜しく願い申し上げます。

なお、上記文中の各会社の責任者は下記の方になります。記事掲載の折、ご取材可能です。ぜひご検討願います。

- 株式会社カンバス 広島オフィス 福原誠二様
- NHK エンタープライズ 国際企画 浜野高広様
- 株式会社クロスメディア 代表取締役 佐倉寛二郎様
- テレビマンユニオン プロデューサー 熊谷喜一様

■補足事項

【字幕・音声ガイド制作の様子について】

カンバス（福原誠二社長）は、東京で映画・ドラマ等の字幕を作るコンピューター・ソフトを開発、業界トップのシェアを占める。また字幕制作や音声ガイド制作も手掛けている。社長が山口県出身かつ広島県で仕事をしていたこともあり、広島に支社を設立。社会貢献活動として積極的に支援をしている。

【障害者団体関連】

「音声ガイド」については、広島県立視覚障害者情報センターや福祉法人広島県視覚障害者団体連合会が、制作に参加。視覚障害者の荒尾富士雄さんは「こうした活動が全国に広がっていき、皆が健常者と同じ映画を楽しめるようになりたい」という。「裸の島」のバリアフリー化は彼の願いから実現した。

【2月24日（日）に実施した『白い息』バリアフリー版上映時の一般の方の感想】

- バリアフリー映画を観るのは初めての機会でした。違和感を感じませんし、年配の方にも良いのではと感じました。（女性）

本作のバリアフリー版の上映は、ユーロスペース公開期間中に下記日時にて実施致します。
バリアフリー版の映画をご高覧になりたい方は、お席をご用意致しますので、ご一報願います。

[日時] 3月3日（日） 午前 10:30～

3月4日（月）から8日（金）までの 17:30 の回

[場所] ユーロスペース

渋谷区円山町1-5 KINOHAUS 3F ※渋谷・文化村前交差点左折

3月2日(土)よりユーロスペースにてロードショー

〈この件のお問い合わせ〉

アーケエンタテインメント 高木 (takaki@ark-ent.com / 080-4134-9498)

TEL:03-6434-1033/FAX:03-6434-1034